

**FILE No.5**  
**区民生活部**

ファイルは全22ファイルあり、**評価表の見方はFILE No. 1-1**にあります。  
評価結果の一覧は、**FILE No. 1-1、1-2**の各課総括表をご覧ください。  
ご覧になりたい事業名をクリックすると該当事務事業の表にジャンプします。

1 / 2

担当課名	整理番号	細番号	事務事業名
課税課	95		自動車臨時運行許可事務
	102		特別区民税・都民税賦課事務
	108		軽自動車税賦課徴収事務
	109		たばこ税徴収事務
納税課	103		特別区民税・都民税徴収整理事務
	104		納税貯蓄組合連合会助成
	105		納税貯蓄組合表彰
	106		税に関する作文募集
	107		納期宣伝ポスター
文化・交流課	41		アート公募展(21世紀プロジェクト)
	48		文化・芸術活動推進
	49		国際交流の推進
	50		国内交流の推進
	52		杉並区文化・交流協会
(男女共同参画推進担当 ・その1)	51		平和都市宣言関連事業の推進
	403		男女平等推進センター施設維持管理
	404		企画運営委員会
	405		パートタイマー報酬、図書・資料購入
	406		ニュースの発行
	407		啓発・セミナー講座の開催
	409		人材養成・ネットワークづくり
	413		女性のための相談
	414		自立支援・起業支援

**次のページへ**

(男女共同参画推進担当・その2)

**FILE No.5**  
**区民生活部**

ファイルは全22ファイルあり、**評価表の見方はFILE No. 1-1**にあります。  
評価結果の一覧は、**FILE No. 1-1、1-2**の各課総括表をご覧ください。  
ご覧になりたい事業名をクリックすると該当事務事業の表にジャンプします。

2 / 2

担当課名	整理番号	細番号	事務事業名
(男女共同参画推進担当 ・その2)	417		男女共同参画推進のための啓発
	419		調査研究
	420		男女共同参画の推進

**前のページへ**

課税課 / 納税課 / 文化・交流課 / (男女共同参画推進担当・その1)

# 平成13年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		自動車臨時運行許可事務				整理番号	95		細番号				
所属部課名		区民生活部課税課		コード	50701	連絡先電話番号	1203		昨年度整理番号	86			
係名 税務管理係				上位施策名				NO					
予算事業名 自動車臨時運行許可事務				コード	11400	窓口業務等サービスの向上				73			
事務事業の概要	事業開始年度 <input checked="" type="radio"/> 昭和 <input type="radio"/> 平成 27 年度				根拠法令等 <input type="checkbox"/> 実施計画事業 <input type="checkbox"/> 行革対象事業								
	事業終期 <input type="radio"/> 無 <input type="radio"/> 有 平成 年度				(1) 道路運送車両法								
	対象 <input type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input type="checkbox"/> 団体 <input checked="" type="checkbox"/> その他 自動車臨時運行許可を必要とする個人又は法人				(2) 道路運送車両法施行規則								
					(3) 杉並区自動車の臨時運行許可に関する規則								
	活動内容（事務事業の内容、やり方、手順） 自動車等の新規登録や、車検証が有効でない自動車の継続検査をするための回送を行う場合、車を特定できる車検証等と自賠責保険の加入を確認し、運行する必要最小日数（最高5日間）臨時運行の許可をし、許可証の交付と許可番号標を貸与する。				活動指標名(式) (1) 臨時運行許可件数 (2)								
意図（対象をどのような状態にしたいのか） 陸運事務所まで行かなくても、身近な行政庁で臨時運行の許可を得られるようにする。				成果指標名(式) (1) 臨時運行許可件数前年比率 (2)									
意図を実現することで、上位施策にどのように貢献していますか 許可及び許可番号標の貸与は、運行経路の最寄の陸運支局長か、行政庁が行うこととなっているため、区民にとっては陸運支局より区役所の方が近くて便利である。また、この事務は昨年より法定受託事務となり、自治権の拡充という意味では寄与している。													
区分		単位	10年度実績	11年度実績	12年度		13年度計画	目標値	目標値に対する12年度の達成率%				
					計画	実績		年度					
指標	活動指標(1)		件	3,407	3,149	2,968	3,014	3,032					
	活動指標(2)												
	成果指標(1)		%	91.3	92.4	94.3	95.7	100.6					
	成果指標(2)												
総事業費・コスト把握	事業費		千円	78	103	74	74	67					
	職員数(正規   非常勤)		人	0.10	0.20	0.20	0.20	0.40	特記事項				
	人件費	職員分(超勤分含む)	千円	907	1,815	1,815	1,815	3,629	平成12年度までの職員数は、税務管理係の職員数で出張所を含まず、平成13年度より事業の扱いが税務管理係のみとなる。				
		非常勤職員分	千円	0	0	0	0	0					
	総事業費 + +		千円	985	1,918	1,889	1,889	3,696					
	単位あたりコスト ÷		円	289	609	636	627	1,219					
	財源	受益者負担分		千円	2,555	2,564	2,226	2,261			2,274		
		国・都からの支出金		千円									
		その他特定財源		千円									
		特定財源計 + +		千円	2,555	2,564	2,226	2,261			2,274		
差引:一般財源 -		千円	-1,570	-646	-337	-372	1,422						
受益者負担比率 ÷		%	259.3	133.7	117.9	119.7	61.5						
事業を取り巻く環境	開始当初から現在までの変化		最寄の行政庁で簡単に許可申請を受けることができるため、ユーザー車検等個人で車検を受けられるようになったこともあり、個人の申請件数が増えている反面、許可番号標の未返却や不正使用も増えている。										
	事業に対する住民の意見 (事業に対する期待・要望・苦情など)		区民事務所での取扱いを求める声がある。										
	今後の予測		平成13年度より、許可及び許可番号標の貸与が区役所のみとなったため、従来に比べてサービスの低下が予想される。										

# 平成13年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		特別区民税・都民税賦課事務				整理番号	102		細番号								
所属部課名		区民生活部課税課		コード	50703		連絡先電話番号	1215		昨年度整理番号	91						
係名					課税統括主査					上位施策名		NO					
予算事業名					特別区民税・都民税賦課事務					コード		13000					
事業開始年度					<input checked="" type="radio"/> 昭和 <input type="radio"/> 平成 25 年度					根拠法令等					<input type="checkbox"/> 実施計画事業 <input type="checkbox"/> 行革対象事業		
事業終期					<input checked="" type="radio"/> 無 <input type="radio"/> 有 平成 年度					(1) 地方税法、同施行令							
対象					<input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他					(2) 杉並区特別区税条例、東京都税条例							
賦課期日現在					1. 区内に住所を有する個人 2. 区内に住所を有しないが、事務所又は家屋敷を有する個人					(3) 杉並区事務手数料条例							
事務事業の概要	活動内容（事務事業の内容、やり方、手順）					給与支払報告書、所得税確定申告書、住民税申告書等の課税資料に基づき、特別区民税・都民税の賦課決定を行う。未申告者に対しては、訪問調査等により申告勧奨を実施する。					活動指標名(式)					(1) 賦課(非課税含む)件数(人数)	
	意図（対象をどのような状態にしたいのか）					税の公平性の観点から、対象者を正確に把握し、課税額を正しく算定する。					成果指標名(式)					(1)	
																(2) 未申告者に対する申告勧奨件数	
																(2) 申告件数 / 申告勧奨件数	
意図を実現することで、上位施策にどのように貢献していますか												区財源の根幹である税収の確保と、区民が広く公平に負担を分かち合う公平意識の醸成					
区分		単位	10年度実績	11年度実績	12年度		13年度計画	目標値	目標値に対する12年度の達成率%								
					計画	実績		年度									
指標	活動指標(1)		人	314,800	319,523	320,371	319,616	321,085	330,000	96.9							
	活動指標(2)		件	40,540	37,052	37,300	37,446	37,700	40,000	93.6							
	成果指標(1)																
	成果指標(2)		%	22	23	21	21	22	23	91.3							
総事業費・コスト把握	事業費		千円	116,900	112,762	107,512	103,580	109,557									
	職員数(正規   非常勤)		人	59.90   0.00	57.50   0.00	57.00   0.00	55.60   0.00	57.60   0.00	特記事項								
	人件費	職員分(超勤分含む)	千円	543,473	521,698	517,161	504,459	522,605									
		非常勤職員分	千円	0	0	0	0	0									
	総事業費 + +		千円	660,373	634,460	624,673	608,039	632,162									
	単位あたりコスト ÷		円	2,098	1,986	1,950	1,902	1,969									
	財源	受益者負担分		千円	0	0	0	0	0								
		国・都からの支出金		千円	0	0	0	0	0								
		その他特定財源		千円	14,706	13,277	13,380	14,445	15,289								
		特定財源計 + +		千円	14,706	13,277	13,380	14,445	15,289								
差引:一般財源 -		千円	645,667	621,183	611,293	593,594	616,873										
受益者負担比率 ÷		%	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0										
事業を取り巻く環境	開始当初から現在までの変化		税体系の複雑化、課税資料の質・量の増加により、賦課事務自体が専門化、複雑化し、量的にも増加している。税収は時々の経済状況に左右され、長引く不況により落ち込んでいる。企業倒産、リストラの増加、雇用形態の変化により、特別徴収分調定額が減り、普通徴収分調定額が増となり、所得把握が困難なケースが増加している。														
	事業に対する住民の意見（事業に対する期待・要望・苦情など）		課税のしくみ、根拠が分かりにくい。未申告者に対する不公平感が伝えられている。特別徴収義務者の方から、納入書のOCR化を強く求められている。														
	今後の予測		雇用形態の変化、若年層のフリーターの増加等から、所得状況の把握はますます困難になると予想される。所得把握方法の工夫が必要である。														

# 平成13年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		軽自動車税賦課徴収事務				整理番号	108		細番号								
所属部課名		区民生活部課税課		コード	50701	連絡先電話番号	1203	昨年度整理番号	97(1)								
係名		税務管理係			上位施策名				NO								
予算事業名		軽自動車税等賦課徴収整理事務		コード	13400	財政の健全化と財政基盤の強化			78								
事務事業の概要	事業開始年度		<input checked="" type="radio"/> 昭和 <input type="radio"/> 平成		29 年度		根拠法令等			<input type="checkbox"/> 実施計画事業 <input type="checkbox"/> 行革対象事業							
	事業終期		<input type="radio"/> 無 <input type="radio"/> 有		平成 年度		(1) 地方税法										
	対象		<input type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input type="checkbox"/> 団体 <input checked="" type="checkbox"/> その他		(2) 杉並区特別区税条例												
	杉並区内で軽自動車等を所有している人及び法人		(3)														
	活動内容（事務事業の内容、やり方、手順）		活動指標名(式)														
杉並区内に定置場を有する原動機付自転車等の標識の交付、及び杉並区内に定置場を有する軽自動車等に対して、軽自動車税を賦課し、徴収する。		(1) 調定件数(現年課税分+滞納繰越分)															
		(2) 収納件数(現年課税分+滞納繰越分)															
意図（対象をどのような状態にしたいのか）		成果指標名(式)															
軽自動車税を公平かつ適正に賦課するとともに、税負担の公平性の観点から滞納者に対し、督促・催告を行い収納を図る。		(1) 現年分徴収金額÷現年分調定金額															
		(2) 滞納分徴収金額÷滞納分調定金額															
意図を実現することで、上位施策にどのように貢献していますか																	
数少ない自主財源の確保に貢献している。																	
区分		単位	10年度実績		11年度実績		12年度		13年度		目標値		目標値に対する12年度の達成率%				
			計画	実績	計画	実績	計画	年度									
指標	活動指標(1)		件	73,942	70,824	68,949	68,829	69,328									
	活動指標(2)		件	45,811	43,720	41,941	48,077	35,830									
	成果指標(1)		%	90	90.8	90	92.2	90									
	成果指標(2)		%	15.4	11.4	13.32	11.8	12.2									
総事業費・コスト把握	事業費		千円	8,330	6,693	6,368	5,608	7,921									
	職員数(正規 非常勤)		人	6.47	4.92	4.60	4.60	4.30									
	人件費	職員分(超勤分含む)	千円	58,702	44,639	41,736	41,736	39,014	特記事項 出張所、区民事務所の職員数は除く								
		非常勤職員分	千円	0	0	0	0	0									
	総事業費 + +		千円	67,032	51,332	48,104	47,344	46,935									
	単位あたりコスト ÷		円	907	725	698	688	677									
	財源	受益者負担分		千円													
		国・都からの支出金		千円													
		その他特定財源		千円	1,077	652	521	512					824				
		特定財源計 + +		千円	1,077	652	521	512					824				
差引:一般財源 -		千円	65,955	50,680	47,583	46,832	46,111										
受益者負担比率 ÷		%															
事業を取り巻く環境	開始当初から現在までの変化		原動機付自転車の所有者は、特に若者が多く、かつ税額が少ないため、納税意識が低だけでなく、登録時の申告を業者が代行する事が多いため、廃車や変更にも申告する必要性の認識に欠けるところがあり、滞納件数が多くなる。														
	事業に対する住民の意見(事業に対する期待・要望・苦情など)		手軽に納付できる方法として、コンビニでの収納を要望される。														
	今後の予測		軽自動車の規格に関する規制緩和やバイクの人気車種が出たこともあり、若干新規登録台数が、増える傾向にある。														

# 平成13年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		たばこ税徴収事務		整理番号	109		細番号					
所属部課名		区民生活部課税課		コード	50701		連絡先電話番号	1203				
係名		税務管理係		上位施策名				NO				
予算事業名		軽自動車税等賦課徴収整理事務		コード	13400		昨年度整理番号	97(2)				
				財政の健全化と財政基盤の強化				78				
事務事業の概要	事業開始年度			<input checked="" type="radio"/> 昭和 <input type="radio"/> 平成		29 年度		根拠法令等		<input type="checkbox"/> 実施計画事業 <input type="checkbox"/> 行革対象事業		
	事業終期			<input type="radio"/> 無 <input type="radio"/> 有		平成 年度		(1) 地方税法				
	対象			<input type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input type="checkbox"/> 団体 <input checked="" type="checkbox"/> その他		(2) 杉並区特別区税条例						
	製造たばこの製造者、特定販売業者及び卸売販売業者			(3)								
	活動内容（事務事業の内容、やり方、手順）						活動指標名(式)					
製造たばこを卸売販売業者等が、杉並区内に営業所を有する小売販売業者に売渡す時に、売渡した分のたばこ税を、卸売販売業者等が申告し、それを納入する。						(1) 調定件数						
						(2) 収納件数						
意図（対象をどのような状態にしたいのか）						成果指標名(式)						
たばこ税を遅滞なく収納する。						(1) 収納率(金額ベース)						
						(2) 収納率(件数ベース)						
意図を実現することで、上位施策にどのように貢献していますか												
安定した区の財源確保として貢献している。												

区分	単位	10年度実績		11年度実績		12年度		13年度		目標値		目標値に対する12年度の達成率%
		計画	実績	計画	実績	計画	実績	年度				
指標	活動指標(1)	件	101	95	96	123	123					
	活動指標(2)	件	100	89	96	122	123					
	成果指標(1)	%	100	100	100	100	100					
	成果指標(2)	%	99.01	93.68	100	99.2	100					
総事業費・コスト把握	事業費	千円	15	15	58	34	142					
	職員数(正規   非常勤)	人	0.10	0.10	0.15	0.15	0.15			特記事項		
	人件費	職員分(超勤分含む)	千円	907	907	1,361	1,361	1,361				
		非常勤職員分	千円	0	0	0	0	0				
	総事業費 + +	千円	922	922	1,419	1,395	1,503					
	単位あたりコスト ÷	円	9,132	9,708	14,781	11,341	12,219					
	財源	受益者負担分	千円									
		国・都からの支出金	千円									
		その他特定財源	千円	17								
		特定財源計 + +	千円	17	0	0	0	0				
差引:一般財源 -	千円	905	922	1,419	1,395	1,503						
受益者負担比率 ÷	%											
事業を取り巻く環境	開始当初から現在までの変化	地方財源として昭和29年地方たばこ消費税が創設され、平成元年消費税導入に伴い、地方たばこ税と改称され、特別区の存する地域では、特別区たばこ税として都が都たばこ税と共に扱っていた。しかし、平成12年度特別区制度改革に伴い、各区で申告納税等の業務面も扱うことになった。										
	事業に対する住民の意見(事業に対する期待・要望・苦情など)											
	今後の予測	嫌煙、禁煙化傾向にあるので、今後も消費本数は減少していくものと推測される。										

# 平成13年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		特別区民税・都民税徴収整理事務				整理番号	103		細番号				
所属部課名		区民生活部納税課		コード	50901	連絡先電話番号	2204		昨年度整理番号	92			
係名		管理係		上位施策名				NO					
予算事業名		特別区民税・都民税徴収整理事務		コード	13200	財政の健全化と財政基盤の強化				78			
事務事業の概要	事業開始年度		<input checked="" type="radio"/> 昭和 <input type="radio"/> 平成		年度		根拠法令等 <input checked="" type="checkbox"/> 実施計画事業 <input type="checkbox"/> 行革対象事業						
	事業終期		<input checked="" type="radio"/> 無 <input type="radio"/> 有		平成 年度		(1) 地方税法、同施行令、同施行規則 (2) 国税徴収法、同施行令 (3) 杉並区特別区税条例、同施行規則						
	対象		<input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input type="checkbox"/> 団体 <input checked="" type="checkbox"/> その他		特別区民税・都民税を賦課された個人（普通徴収）及び特別徴収義務者（会社・法人）を対象とする。								
	活動内容（事務事業の内容、やり方、手順）		納付後の区民税の管理とともに未納者に対して督促状や催告書を発布し納付を促す。応じない者に対しては訪問や電話交渉を行う。最終的には滞納処分（差押等）を行う。				活動指標名(式)						
	意図（対象をどのような状態にしたいのか）		税の公平性の観点から納税者に対し、納税に対する意識啓発を促すとともに納税への理解を得て、特別区民税・都民税の期限内完全納付を促す。				成果指標名(式)						
意図を実現することで、上位施策にどのように貢献していますか		区税の納付を通して、区民に区政の構成員であるという自覚を促すとともに、区政への関心を呼び起こしている。											
区分		単位	10年度実績	11年度実績	12年度		13年度計画	目標値	目標値に対する12年度の達成率%				
					計画	実績		15年度					
指標	活動指標(1)		件	799,667	914,084	911,327	914,688	925,567	944,170	100.3			
	活動指標(2)		件	30,287	28,233	30,242	30,858	30,550	29,942	101.7			
	成果指標(1)		%	97.45	97.50	97.70	97.60	97.67	97.80	99.9			
	成果指標(2)		%	16.14	16.37	20.00	17.44	18.00	20.00	87.2			
総事業費・コスト把握	事業費		千円	33,422	32,314	29,956	28,938	30,229					
	職員数(正規   非常勤)		人	52.45	52.45	52.45	52.45	53.45	特記事項				
	人件費	職員分(超勤分含む)	千円	475,879	475,879	475,879	475,879	484,952	職員数 課税課11.9人 納税課(45-3.45)41.55人 合計53.45人 特定財源は都徴収委託金である。				
		非常勤職員分	千円	0	0	0	0	0					
	総事業費 ++		千円	509,301	508,193	505,835	504,817	515,181					
	単位あたりコスト ÷		円	637	556	555	552	557					
	財源	受益者負担分		千円	0	0	0	0			0		
		国・都からの支出金		千円	0	0	0	0			0		
		その他特定財源		千円	1,375,129	1,399,461	1,304,890	1,343,947			1,285,069		
		特定財源計 ++		千円	1,375,129	1,399,461	1,304,890	1,343,947			1,285,069		
差引:一般財源 -		千円	-865,828	-891,268	-799,055	-839,130	-769,888						
受益者負担比率 ÷		%	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0						
事業を取り巻く環境	開始当初から現在までの変化		地方税法が施行され50年。法施行当初に比較すると住民の納税意識は高くなっていると考えられる。一方、社会環境の方は長引く不況による企業倒産やリストラ等が減る見込みもなく、納税したくてもできない状況も生れている。この間の区民の滞納繰越分の中には不良債権化したものも見うけられ、整理せざるを得なくなっている。納税義務者数平成元年245,361人、12年255,467人										
	事業に対する住民の意見(事業に対する期待・要望・苦情など)		徴収整理事務は、法手続きを執行するものであるが、住民からは現下の厳しい状況の社会経済状況もあって、税金の使途に厳しい目が注がれている。また、納付についても特別・普通徴収納税義務者の推移を見ると普通徴収が暫増、特別徴収が暫減の傾向がある。苦しい生活の中で分割納付による納付要望が見られる。										
	今後の予測		今のところ税体系に大きな変化は見られないが、政局の動きによっては大幅な変更も視野にいれなければならない。徴収整理についても今年は現行の方法で推移すると思うが、情報技術の発展による収納システムの変更も予測される。ただし、関係金融機関との間での検討、調整にまだ相当の時間が必要である。										

# 平成13年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		納税貯蓄組合連合会助成				整理番号	104		細番号		
所属部課名		区民生活部納税課		コード	50901	連絡先電話番号	2204		昨年度整理番号	93	
係名				管理係		上位施策名			NO		
予算事業名				特別区民税・都民税徴収整理事務		コード	13200		財政の健全化と財政基盤の強化	78	
事務事業の概要	事業開始年度		<input checked="" type="radio"/> 昭和 <input type="radio"/> 平成		年度						
	事業終期		<input checked="" type="radio"/> 無 <input type="radio"/> 有		平成	年度					
	対象		<input type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input checked="" type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他		根拠法令等 <input checked="" type="checkbox"/> 実施計画事業 <input type="checkbox"/> 行革対象事業 (1) 杉並区納税貯蓄組合連合会補助金交付要綱 (2) 納税貯蓄組合法 (3)						
	活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順)		振替納税の奨励、普及拡大を行っている納税貯蓄組合連合会に対して助成を行っている。				活動指標名(式) (1) 納税貯蓄組合連合会数 (2) 納税貯蓄組合連合会の組合員数				
	意図 (対象をどのような状態にしたいのか)		納税貯蓄組合の活動を通して区民及び会員に対し、税知識の普及と納税意識の高揚、振替納税の奨励を図る。				成果指標名(式) (1) 現年課税者に対する口座加入者の割合 (2) 口座加入者数				
意図を実現することで、上位施策にどのように貢献していますか 期限内納付の推進や口座振替の普及に大きく貢献している。											
区分		単位	10年度実績	11年度実績	12年度		13年度計画	目標値	目標値に対する12年度の達成率%		
					計画	実績		15年度			
指標	活動指標(1)		連合会	2	2	2	2	2	2	100.0	
	活動指標(2)		組合員	14,992	14,855	14,850	14,845	14,840	14,830	99.9	
	成果指標(1)		%	25.70	27.00	28.00	26.10	28.00	30.00	93.2	
	成果指標(2)		人数	30,582	33,184	34,000	32,344	34,000	36,000	95.1	
総事業費・コスト把握	事業費		千円	1,714	1,711	1,428	1,403	1,403			
	職員数(正規   非常勤)		人	0.10	0.10	0.10	0.10	0.10	特記事項		
	人件費	職員分(超勤分含む)	千円	907	907	907	907	907			
		非常勤職員分	千円	0	0	0	0	0			
	総事業費 ++		千円	2,621	2,618	2,335	2,310	2,310			
	単位あたりコスト ÷		円	1,310,650	1,309,150	1,167,650	1,155,150	1,155,150			
	財源	受益者負担分		千円	0	0	0	0	0		
		国・都からの支出金		千円	0	0	0	0	0		
		その他特定財源		千円	0	0	0	0	0		
		特定財源計 ++		千円	0	0	0	0	0		
差引:一般財源 -		千円	2,621	2,618	2,335	2,310	2,310				
受益者負担比率 ÷		%	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0				
事業を取り巻く環境	開始当初から現在までの変化		口座振替による納付は税金をはじめ多くの公共料金だけでなく、一般的にも広く国民の間に利用されている。このことは区税の収入確保に大きく貢献しているが、金融機関の統廃合の影響もあり、組合員数の減少が見られる。平成6年15,031人、平成12年14,845人と減っている。								
	事業に対する住民の意見 (事業に対する期待・要望・苦情など)		プライバシーの問題や利便性の関係で口座振替が普及しており、区民の税に関する関心も納税意識も高まっている。								
	今後の予測		利便性や安全・確実性等から口座振替の普及は拡大すると思われる。								



# 平成13年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		納税貯蓄組合表彰				整理番号	105		細番号				
所属部課名		区民生活部納税課		コード	50901	連絡先電話番号	2204		昨年度整理番号	94			
係名				管理係		上位施策名			NO				
予算事業名				特別区民税・都民税徴収整理事務		コード	13200		財政の健全化と財政基盤の強化	78			
事務事業の概要	事業開始年度				<input checked="" type="radio"/> 昭和 <input type="radio"/> 平成		年度		根拠法令等 <input checked="" type="checkbox"/> 実施計画事業 <input type="checkbox"/> 行革対象事業				
	事業終期				<input type="radio"/> 無 <input checked="" type="radio"/> 有		平成		13 年度				
	対象				<input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input checked="" type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他		納税貯蓄組合に所属している者						
	活動内容（事務事業の内容、やり方、手順）				納税貯蓄組合の運営や指導育成又は区税の納税奨励、普及に貢献した者に年1回優良指導者として区が感謝状を贈呈する。								
	活動指標名(式)				(1) 優良指導者表彰数 (2)								
意図（対象をどのような状態にしたいのか）				納税の奨励や税知識の普及に貢献したことに対し、区が感謝の意を表すことにより、区税収入を高めるための原動力となつてもらう。									
成果指標名(式)				(1) 表彰者のうち、納税奨励活動を行っている者 (2)									
意図を実現することで、上位施策にどのように貢献していますか 区税の徴収率が向上し、財政基盤の安定が図れる。													
区分		単位	10年度実績	11年度実績	12年度		13年度計画	目標値		目標値に対する12年度の達成率%			
					計画	実績		15	年度				
指標	活動指標(1)		人	4	4	4	0	0	0	0.0			
	活動指標(2)												
	成果指標(1)		人	49	53	57	53	0	53	0.0			
	成果指標(2)												
総事業費・コスト把握	事業費		千円	93	91	91	0	0					
	職員数(正規 非常勤)		人	0.10	0.10	0.10	0.00	0.00	特記事項				
	人件費	職員分(超勤分含む)	千円	907	907	907	0	0	12年度から事業休止				
		非常勤職員分	千円	0	0	0	0	0					
	総事業費 ++		千円	1,000	998	998	0	0					
	単位あたりコスト ÷		円	250,075	249,575	249,575	0	0					
	財源	受益者負担分		千円	0	0	0	0			0		
		国・都からの支出金		千円	0	0	0	0			0		
		その他特定財源		千円	0	0	0	0			0		
		特定財源計 ++		千円	0	0	0	0			0		
差引:一般財源 -		千円	1,000	998	998	0	0						
受益者負担比率 ÷		%	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0						
事業を取り巻く環境	開始当初から現在までの変化		設立当初から活発に活動しており、口座振替による納付は税金をはじめ多くの公共料金だけでなく、一般的にも広く国民の間に利用され、このことは区税の収入確保に大きく貢献してきた。しかしながら会員が限定され、区政功労者とも重複するようになってきた。組合数 平成6年225、平成12年216。										
	事業に対する住民の意見(事業に対する期待・要望・苦情など)		会員の高齢化、固定化が進む中で対象となる会員が限られてきている。										
	今後の予測		会員の高齢化、固定化の中で区政貢献者等と重複するので表彰の意義がうすれてきている。										

# 平成13年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		税に関する作文募集				整理番号	106		細番号			
所属部課名		区民生活部納税課		コード	50901	連絡先電話番号	2204		昨年度整理番号	95		
係名				上位施策名				NO				
予算事業名				特別区民税・都民税徴収整理事務		コード	13200		財政の健全化と財政基盤の強化		78	
事務事業の概要	事業開始年度		<input checked="" type="radio"/> 昭和 <input type="radio"/> 平成		年度							
	事業終期		<input checked="" type="radio"/> 無 <input type="radio"/> 有   平成		年度							
	対象		<input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他		杉並区に就学する中学生。							
	活動内容（事務事業の内容、やり方、手順）					活動指標名(式)						
	区内にある公私立の中学校を通じて税に関する作文を年1回応募してもらう。（主催、納税貯蓄組合連合会）区では優秀作品については区長表彰を行うとともに参加者に記念品を配っている。					(1) (代)作文審査 (2)						
意図（対象をどのような状態にしたいのか）					成果指標名(式)							
作文を書くことによって、税の意義や用途について考えてもらうことを目的とする。併せて、将来の納税者である中学生に税への関心を高めてもらうように意識高揚を図る。					(1) (代)作文応募者数 (2)							
意図を実現することで、上位施策にどのように貢献していますか												
区民である中学生に高い納税意識が培われ、高い収納率を確保する原動力となっている。												
区分		単位	10年度実績		11年度実績		12年度		13年度計画		目標値	目標値に対する12年度の達成率%
			計画	実績	計画	実績	15年度					
指標	活動指標(1)		回	1	1	1	1	1	1	1	100.0	
	活動指標(2)											
	成果指標(1)		人	1,200	1,519	1,629	1,579	1,736	2,100	96.9		
	成果指標(2)											
総事業費・コスト把握	事業費		千円	467	398	382	415	426	514			
	職員数(正規   非常勤)		人	0.05	0.05	0.05	0.05	0.05		特記事項 平成12年度から新たに区長賞(2件)を設けた。		
	人件費	職員分(超勤分含む)	千円	454	454	454	454	454				
		非常勤職員分	千円	0	0	0	0	0				
	総事業費 + +		千円	921	852	836	869	880				
	単位あたりコスト ÷		円	920,650	851,650	835,650	868,650	879,650				
	財源	受益者負担分		千円	0	0	0	0	0			
		国・都からの支出金		千円	0	0	0	0	0			
		その他特定財源		千円	0	0	0	0	0			
		特定財源計 + +		千円	0	0	0	0	0			
差引:一般財源 -		千円	921	852	836	869	880					
受益者負担比率 ÷		%	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0					
事業を取り巻く環境	開始当初から現在までの変化		中学生になじみの薄かった税も消費税が導入されて以来、税のことを意識せざるをえない状況が生まれるなど社会環境に大きな変化があった。作文応募者数985人(平成6年)1,579人(平成12年)									
	事業に対する住民の意見(事業に対する期待・要望・苦情など)		1個のお菓子を買うにも3%そして5%の消費税が徴収され、税金について考えるようになり、家庭や学校などでも身近な話題として取り上げられることが多くなった。									
	今後の予測		税金を考えるきっかけとなる作文募集は、租税教育という観点からもますます重要になると考えられる。									

# 平成13年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		納期宣伝ポスター		整理番号	107	細番号		
所属部課名		区民生活部納税課	コード	50901	連絡先電話番号	2204	昨年度整理番号	96
係名		管理係		上位施策名			NO	
予算事業名		特別区民税・都民税徴収整理事務		コード	13200	財政の健全化と財政基盤の強化		78
事務事業の概要	事業開始年度		<input checked="" type="radio"/> 昭和 <input type="radio"/> 平成	年度	根拠法令等 <input type="checkbox"/> 実施計画事業 <input type="checkbox"/> 行革対象事業			
	事業終期		<input type="radio"/> 無 <input checked="" type="radio"/> 有	平成 12 年度	(1)			
	対象		<input type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input checked="" type="checkbox"/> 団体 <input checked="" type="checkbox"/> その他	(2)				
	2 3 区内納税義務者		(3)					
	活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順)		区内にある区の掲示板及び金融機関にポスターを貼る。		活動指標名(式)			
意図 (対象をどのような状態にしたいのか)		ポスターを掲示することによって、特別区民税・都民税の納期限を知らせ、納付忘れのないようにする。		成果指標名(式)				
意図を実現することで、上位施策にどのように貢献していますか		特別区民税・都民税の納期限を知らせることにより、区税収入の確保に貢献している。						

区分	単位	10年度実績	11年度実績	12年度		13年度計画	目標値		目標値に対する12年度の達成率%			
				計画	実績		年度	年度				
指標	活動指標(1)	枚	350	350	350	350	0	0	100.0			
	活動指標(2)											
	成果指標(1)	%	97.5	97.5	97.6	97.6	97.6	97.7	100.0			
	成果指標(2)											
総事業費・コスト把握	事業費	千円	175	174	172	172	0	0	100.0			
	職員数(正規   非常勤)	人	0.05	0.05	0.05	0.05	0.00	特記事項				
	人件費	職員分(超勤分含む)	千円	454	454	454	454	0	平成13年度から廃止			
		非常勤職員分	千円	0	0	0	0	0				
	総事業費 + +		千円	629	628	626	626	0				
	単位あたりコスト ÷		円	1,796	1,793	1,788	1,788	0				
	財源	受益者負担分	千円	0	0	0	0	0				
		国・都からの支出金	千円	0	0	0	0	0				
		その他特定財源	千円	0	0	0	0	0				
		特定財源計 + +	千円	0	0	0	0	0				
差引:一般財源 -		千円	629	628	626	626	0					
受益者負担比率 ÷		%	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0					
事業を取り巻く環境	開始当初から現在までの変化	開始当初は税に関する関心も意識も薄く、情報の伝達手段も限られてきているところから様々な機会を通じて納期限を周知させる必要があった。しかしながら、現在は口座振替制度の普及や銀行等金融機関への自主納付が広く普及しており、ポスターで納期を知るものは少なくなってきている。口座振替による納付金額は30%近くに達しており、納税通知書にチラシを入れるなどして普及に努めている。										
	事業に対する住民の意見 (事業に対する期待・要望・苦情など)	大多数の区民は区広報や納税通知書に表示されている納期で納期限を確認して確実に納付を行っている。納期宣伝のポスターで納期を知るものは少なくなってきており、情報の伝達手段としてのポスターの役割は区税としては非常に小さくなってきていると考えられる。										
	今後の予測	13年度にポスターの共同印刷が廃止され、経費もかさむことから区でもポスター印刷は当分は取りやめる。										

# 平成13年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		アート公募展（21世紀プロジェクト）				整理番号	41		細番号	
所属部課名		区民生活部文化・交流課		コード	50200		連絡先電話番号	1564		
係名						上位施策名		NO		
予算事業名		企画・調整		コード	5200		文化・芸術活動の推進		67	
事務事業の概要	事業開始年度		○昭和 ●平成		12年度		根拠法令等 <input type="checkbox"/> 実施計画事業 <input type="checkbox"/> 行革対象事業			
	事業終期		○無 ●有		平成 12年度		(1)			
	対象		<input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他				(2)			
	区内在住、在学で25歳以下の者。						(3)			
	活動内容（事務事業の内容、やり方、手順）		美術作品の公募を行い、入選作品をの展覧会を行う。（主催は文化・交流協会）				活動指標名(式)			
							(1) 公募展の開催数 (2)			
意図（対象をどのような状態にしたいのか）		身近な地域で美術作品の公募展を実施し、創作意欲を喚起することにより、将来の芸術家が多く発掘・育成されるようにするため、21世紀を担う若い世代に作品の発表の機会を与える。				成果指標名(式)				
						(1) 公募展の出品数 (2) 入選作品展の来場者数				
意図を実現することで、上位施策にどのように貢献していますか 地域文化の創造につながる。										
区分	単位	10年度実績	11年度実績	12年度		13年度計画	目標値		目標値に対する12年度の達成率%	
				計画	実績		年度			
指標	活動指標(1)	回	0	0	1	1	0			
	活動指標(2)									
	成果指標(1)	点	0	0		853	0			
	成果指標(2)	人	0	0		1304	0			
総事業費・コスト把握	事業費		千円	0	0	1,500	1,500	0		
	職員数(正規   非常勤)		人			0.10	0.10			
	人件費	職員分(超勤分含む)	千円	0	0	907	907	0	特記事項 当該事業は、杉並区文化・交流協会との共催事業であり、区は事業費及び人件費の一部についてのみ負担しているため、総事業費、コストについては正確さを欠いている。	
		非常勤職員分	千円	0	0	0	0	0		
	総事業費 ++		千円	0	0	2,407	2,407	0		
	単位あたりコスト ÷		円			2,407,300	2,407,300			
	財源	受益者負担分		千円						
		国・都からの支出金		千円						
		その他特定財源		千円						
		特定財源計 ++		千円	0	0	0	0		0
差引:一般財源 -		千円	0	0	2,407	2,407	0			
受益者負担比率 ÷		%								
事業を取り巻く環境	開始当初から現在までの変化		平成12年度から、始めた事業であり、今後3年間ごとに実施する予定である。							
	事業に対する住民の意見（事業に対する期待・要望・苦情など）		創作活動の励みになるので是非今後も続けて欲しいという声が多く寄せられている。また一方で、応募条件を無くして実施して欲しいという意見も何件かみられた。							
	今後の予測		平成15年度に実施予定。							

# 平成13年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		文化・芸術活動推進				整理番号	48		細番号						
所属部課名		区民生活部文化・交流課		コード	50200		連絡先電話番号	1564		昨年度整理番号	38				
係名				上位施策名						NO					
予算事業名				文化・交流の推進		コード	5700		文化・芸術活動の推進			67			
事務事業の概要	事業開始年度			○ 昭和 ● 平成		元 年度		根拠法令等				<input checked="" type="checkbox"/> 実施計画事業 <input type="checkbox"/> 行革対象事業			
	事業終期			● 無 ○ 有		平成 年度		(1) 杉並区文化・交流推進委員会設置要綱							
	対象			<input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input checked="" type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他		区内在住・在学・在勤者		(2) 杉並区施設文化費運用に関する要綱							
								(3) 杉並区・日本フィル相互協力に関する覚書							
	活動内容（事務事業の内容、やり方、手順）							活動指標名(式)							
日本フィルとの友好提携事業、民間団体の文化・芸術活動の後援・共催等を通して、文化事業の提供を行なう。							(1) 日本フィルとの友好提携事業の実施回数								
							(2) 区民主体の文化・芸術活動事業の後援・共催名義使用承認件数								
意図（対象をどのような状態にしたいのか）							成果指標名(式)								
身近な地域で優れた文化・芸術に触れる機会が提供され、区民の主体的・創造的な文化・芸術活動が展開される。							(1) 日本フィルとの友好提携事業の参加者数								
							(2) 区民主体の文化・芸術活動の事業参加者数								
意図を実現することで、上位施策にどのように貢献していますか															
区民がすぐれた文化・芸術に親しめる環境が整うとともに、区民の多様な文化的活動や創造的な芸術活動を支援することができる。															
区分		単位	10年度実績		11年度実績		12年度		13年度計画		目標値		目標値に対する12年度の達成率%		
							計画		実績		年度				
指標	活動指標(1)		回	24		24		36		36		36			
	活動指標(2)		件									40			
	成果指標(1)		人	8600		9200		12900		10324		12000			
	成果指標(2)		人												
総事業費・コスト把握	事業費		千円	1,478		950		1,164		900		4,126			
	職員数(正規 非常勤)		人	1.13		1.08		0.98		0.85		0.95		特記事項	
	人件費	職員分(超勤分含む)		千円	10,252		9,799		8,892		7,712		8,619		
		非常勤職員分		千円	0		0		0		0		0		
	総事業費 ++		千円	11,730		10,749		10,056		8,612		12,745			
	単位あたりコスト ÷		円	488,770		447,868		279,321		239,224		354,038			
	財源	受益者負担分		千円											
		国・都からの支出金		千円											
		その他特定財源		千円											
		特定財源計 ++		千円	0		0		0		0		0		
差引: 一般財源 -		千円	11,730		10,749		10,056		8,612		12,745				
受益者負担比率 ÷		%													
事業を取り巻く環境	開始当初から現在までの変化		平成6年に日本フィルと友好提携して以来、身近な地域で優れた音楽を提供することができるようになった。また、平成10年度に「杉並区における文化・芸術振興のあり方懇談会」の報告に基づき、文化専管組織として文化・交流課を設置した。												
	事業に対する住民の意見(事業に対する期待・要望・苦情など)		日本フィルとの友好提携事業については、身近なところで優れた音楽に触れる機会ができてよい、という意見が多数寄せられている。特に小学校への出張音楽教室は、生の演奏を聴いた子ども達の感動の声がふれている。												
	今後の予測		日本フィルに対しては、レジデントオーケストラとしての評価が高まっており、杉並区の文化イメージ向上に貢献している。また、公会堂の改築中、リニューアルオープン後の、日本フィルとの提携のあり方を改めて検討する必要がある。												

# 平成13年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		国際交流の推進				整理番号	49		細番号		
所属部課名		区民生活部文化・交流課		コード	51201	連絡先電話番号	1563		昨年度整理番号	39	
係名				上位施策名				NO			
予算事業名				文化・交流の推進		コード	5700		交流と平和の推進		70
事務事業の概要	事業開始年度 <input type="radio"/> 昭和 <input checked="" type="radio"/> 平成				1 年度		根拠法令等 <input checked="" type="checkbox"/> 実施計画事業 <input type="checkbox"/> 行革対象事業				
	事業終期 <input checked="" type="radio"/> 無 <input type="radio"/> 有				平成 年度		(1) 杉並区・ウイロビー市友好協定				
	対象 <input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input checked="" type="checkbox"/> 世帯 <input checked="" type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他				(2) 杉並区・瑞草区友好協定						
	杉並区内在住・在学・在勤者				(3)						
	活動内容（事務事業の内容、やり方、手順）				活動指標名(式)						
友好都市（オーストラリア・ウイロビー市、大韓民国ソウル特別市瑞草区）親善訪問団等の派遣や受入を行う。友好都市等との連絡調整を行う。				(1) 友好都市訪問者数・来訪者数							
				(2) 友好都市との交流機会提供回数							
意図（対象をどのような状態にしたいのか）				成果指標名(式)							
杉並区民が、文化・スポーツをはじめ様々な分野で、友好都市をはじめとする海外都市の住民と交流できる機会が増える。				(1) 友好都市との交流事業参加者数							
				(2)							
意図を実現することで、上位施策にどのように貢献していますか											
区民が世代や性別、国を超えて、共に交流し、多様な文化にふれあい、相互理解を深めることで、平和に貢献するまちとなる。											
区分	単位	10年度実績	11年度実績	12年度		13年度計画	目標値		目標値に対する12年度の達成率%		
				計画	実績		年度				
指標	活動指標(1)	人	77	108	40	183	20				
	活動指標(2)	回	3	5	1	6	1				
	成果指標(1)	人	77	324	300	553	400				
	成果指標(2)										
総事業費・コスト把握	事業費	千円	2,099	1,121	1,981	1,825	5,318				
	職員数(正規   非常勤)	人	1.13	0.00	1.08	0.00	1.08	0.00	0.85	0.00	特記事項 活動指標の人数・回数は他課で実施した事業も含む。
	人件費	職員分(超勤分含む)	千円	10,252	9,799	9,799	7,712	7,712			
		非常勤職員分	千円	0	0	0	0	0			
	総事業費 + +	千円	12,351	10,920	11,780	9,537	13,030				
	単位あたりコスト ÷	円	160,409	101,110	294,496	52,115	651,503				
	財源	受益者負担分	千円	0	0	0	0	0			
		国・都からの支出金	千円	0	0	0	0	0			
		その他特定財源	千円	0	0	0	0	0			
		特定財源計 + +	千円	0	0	0	0	0			
差引: 一般財源 -	千円	12,351	10,920	11,780	9,537	13,030					
受益者負担比率 ÷	%	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0					
事業を取り巻く環境	開始当初から現在までの変化	国際化が進み、海外へ出かける人・日本を訪れる外国人とも増加。杉並区文化・交流協会の設立(交流係で国際交流事業を展開)。在留外国人は区内で1万人を超え、国籍も90カ国以上と多様化。国際交流事業を行うNPO、ボランティア団体の増加。									
	事業に対する住民の意見(事業に対する期待・要望・苦情など)	国際交流の機会の提供。国際交流に関する情報の提供。									
	今後の予測	ボランティア団体、NPOの活動が活発になる。									

# 平成13年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		国内交流の推進				整理番号	50		細番号			
所属部課名		区民生活部文化・交流課		コード	51201	連絡先電話番号	1563		昨年度整理番号	40		
係名						上位施策名			NO			
予算事業名		文化・交流の推進		コード	5700	交流と平和の推進			70			
事務事業の概要	事業開始年度		<input type="radio"/> 昭和 <input checked="" type="radio"/> 平成		1 年度		根拠法令等				<input checked="" type="checkbox"/> 実施計画事業 <input type="checkbox"/> 行革対象事業	
	事業終期		<input checked="" type="radio"/> 無 <input type="radio"/> 有		平成 年度		(1) 杉並区・風連町友好協定					
	対象		<input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input checked="" type="checkbox"/> 世帯 <input checked="" type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他		(2) 杉並区・吾妻町友好協定							
	活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順)		(3)									
	活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順)		友好自治体 (北海道・風連町、群馬県・吾妻町) で開催されるイベントに代表団・阿波踊り訪問団を派遣する。また、友好自治体等の代表団や親善訪問団の受入を行う。他課・他団体が友好自治体等と交流事業を行う際、連絡調整を行う。									
活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順)		活動指標名(式)										
活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順)		成果指標名(式)										
意図 (対象をどのような状態にしたいのか)		杉並区民等が、文化・スポーツをはじめ様々な分野で、友好自治体他の住民と交流する機会が増える。										
意図を実現することで、上位施策にどのように貢献していますか		区民が世代や性別に係わらず、共に交流し、多様な文化にふれあい、相互理解を深めることで、平和に貢献するまちとなる。										
意図を実現することで、上位施策にどのように貢献していますか		区民が世代や性別に係わらず、共に交流し、多様な文化にふれあい、相互理解を深めることで、平和に貢献するまちとなる。										
区分		単位	10年度実績	11年度実績	12年度		13年度計画		目標値	目標値に対する12年度の達成率%		
					計画	実績			年度			
指標	活動指標(1)		人	673	696	400	478	400				
	活動指標(2)		回	18	17	11	15	11				
	成果指標(1)		人	1860	807	900	1025	500				
	成果指標(2)											
総事業費・コスト把握	事業費		千円	4,844	5,281	5,541	4,247	905				
	職員数 (正規   非常勤)		人	1.36	0.00	1.29	0.00	1.29	0.00	1.17	0.00	特記事項 活動指標の人数・回数は他課で実施した事業も含む。
	人件費	職員分(超勤分含む)		千円	12,339	11,704	11,704	10,615	10,615			
		非常勤職員分		千円	0	0	0	0	0			
	総事業費 + +		千円	17,183	16,985	17,245	14,862	11,520				
	単位あたりコスト ÷		円	25,532	24,404	43,113	31,093	28,801				
	財源	受益者負担分		千円	0	0	0	0	0			
		国・都からの支出金		千円	0	0	0	0	0			
		その他特定財源		千円	0	0	0	0	0			
		特定財源計 + +		千円	0	0	0	0	0			
差引: 一般財源 -		千円	17,183	16,985	17,245	14,862	11,520					
受益者負担比率 ÷		%	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0					
事業を取り巻く環境	開始当初から現在までの変化		風連町・吾妻町で開催されるまつりへの阿波踊り訪問団の派遣事業については、12年度は杉並区文化・交流協会に委託した。吾妻町にすぎなみ自然村ができ、吾妻町を訪問する区民が増えた。吾妻町での親子田植え教室の中止など、全体的に区が主催する交流事業は縮小傾向にある。									
	事業に対する住民の意見 (事業に対する期待・要望・苦情など)		風連町については遠隔地のため実際に行くことが難しい。物産販売等、経済交流を進めてほしい。									
	今後の予測		各種イベント等での物産販売など経済交流の進展が考えられる。									

# 平成13年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		杉並区文化・交流協会				整理番号	52		細番号		
所属部課名		区民生活部文化・交流課		コード	51201	連絡先電話番号	1563		昨年度整理番号	43	
係名				上位施策名				NO			
予算事業名		杉並区文化・交流協会		コード	5760	文化・芸術活動の推進、交流と平和の推進				67,70	
事務事業の概要	事業開始年度 <input type="radio"/> 昭和 <input checked="" type="radio"/> 平成 12 年度				根拠法令等 <input checked="" type="checkbox"/> 実施計画事業 <input checked="" type="checkbox"/> 行革対象事業						
	事業終期 <input checked="" type="radio"/> 無 <input type="radio"/> 有 平成 年度				(1) 杉並区文化・交流協会補助金交付要綱						
	対象 <input type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input checked="" type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他 杉並区文化・交流協会				(2)						
					(3)						
	活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順) 杉並区文化・交流協会に対し、運営及び事業が円滑に行えるように補助金を交付する。				活動指標名(式) (1) 杉並区文化・交流協会実施事業数 (2) 協会会員数						
意図 (対象をどのような状態にしたいのか) 同協会の運営及び事業が円滑に行われる。				成果指標名(式) (1) 杉並区文化・交流協会実施事業参加者数 (2) 協会会員数の伸び率							
意図を実現することで、上位施策にどのように貢献していますか 杉並区における文化・芸術活動及び国内・国際交流の振興が図られる。											
区分		単位	10年度実績	11年度実績	12年度		13年度計画	目標値	目標値に対する12年度の達成率%		
					計画	実績		年度			
指標	活動指標(1)		回			47	71	55			
	活動指標(2)		人			1600	1321	1600			
	成果指標(1)		人				12983				
	成果指標(2)		%					1.2			
総事業費・コスト把握	事業費		千円			56,612	48,696	59,702			
	職員数(正規   非常勤)		人			7.62	7.62	8.62	特記事項		
	人件費	職員分(超勤分含む)		千円	0	0	69,136	69,136	78,209		
		非常勤職員分		千円	0	0	0	0	0		
	総事業費 + +		千円	0	0	125,748	117,832	137,911			
	単位あたりコスト ÷		円			2,675,495	1,659,609	2,507,477			
	財源	受益者負担分		千円							
		国・都からの支出金		千円							
		その他特定財源		千円							
		特定財源計 + +		千円	0	0	0	0	0		
差引: 一般財源 -		千円	0	0	125,748	117,832	137,911				
受益者負担比率 ÷		%									
事業を取り巻く環境	開始当初から現在までの変化		公社等の見直しの中で杉並区文化振興協会と財団法人杉並区国際交流協会が統合し、平成12年度より杉並区文化・交流協会として新たに発足した。								
	事業に対する住民の意見 (事業に対する期待・要望・苦情など)		身近なところがかつ低廉な料金で優れた文化・芸術に触れることのできる機会、交流の機会の拡充。								
	今後の予測		NPOやボランティア団体が増加し、民間団体の活動が活発になる。多種多様な文化・芸術活動がますます都市部に集中する。								



# 平成13年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		平和都市宣言関連事業の推進				整理番号	51		細番号			
所属部課名		区民生活部 文化・交流課		コード	51201	連絡先電話番号	1566		昨年度整理番号	41		
係名		男女共同参画推進担当			上位施策名				NO			
予算事業名		平和都市宣言関連事業の推進		コード	5720	交流と平和の推進				70		
事務事業の概要	事業開始年度 <input type="radio"/> 昭和 <input checked="" type="radio"/> 平成 元 年度				根拠法令等 <input checked="" type="checkbox"/> 実施計画事業 <input type="checkbox"/> 行革対象事業							
	事業終期 <input checked="" type="radio"/> 無 <input type="radio"/> 有 平成 年度				(1) 杉並区平和都市宣言							
	対象 <input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他 区民				(2)							
					(3)							
	活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順) 平和のつどいや平和ポスター・コンクール、展示などの開催による平和都市宣言の趣旨の普及・啓発 非核宣言自治体協議会の加入・全国大会への参加による自治体間の連携 核実験国に対する抗議文の送付				活動指標名(式) (1) 平和のつどい参加者数 (2) 平和ポスター・コンクール応募者数							
意図 (対象をどのような状態にしたいのか) 区民一人ひとりが、戦争の悲惨さ、平和の尊さに対する認識を深めることにより、世界の恒久平和に寄与する。				成果指標名(式) (1) 平和のつどい参加者のうち初めて宣言を知った人 ÷ 全参加者数 (2) 平和のつどい参加者のうち戦後生まれの人 ÷ 全参加者数								
意図を実現することで、上位施策にどのように貢献していますか 区民一人ひとりが、平和に対する意識を高めることにより、平和の推進が実現される。そのことから、区民アンケートや全国の自治体の事業をもとに、もっとも相応しいと思われる事業を実施し、平和の意識を高めている。施策の「交流と平和の推進」には、平和の推進に貢献している。												
区分		単位	10年度実績		11年度実績		12年度		13年度計画		目標値	目標値に対する12年度の達成率%
							計画	実績			17年度	
指標	活動指標(1)		人	496	405	500	437	500	500	500	87.4	
	活動指標(2)		人	379	242	400	254	400	400	400	63.5	
	成果指標(1)		%	38	44	35	41	45	50	50	82.0	
	成果指標(2)		%	46	53	0	31	50	60	60	62.0	
総事業費・コスト把握	事業費		千円	5,544	2,270	1,853	1,707	2,060	2,000	85.4		
	職員数(正規 非常勤)		人	0.45	0.00	0.43	0.00	0.43	0.00	0.60	0.00	特記事項
	人件費	職員分(超勤分含む)	千円	4,083	3,901	3,901	3,901	5,444				
		非常勤職員分	千円	0	0	0	0	0				
	総事業費 ++		千円	9,627	6,171	5,754	5,608	7,504				
	単位あたりコスト ÷		円	19,409	15,238	11,509	12,834	15,008				
	財源	受益者負担分		千円	0	0	0	0	0			
		国・都からの支出金		千円	0	0	0	0	0			
		その他特定財源		千円	0	0	0	0	0			
		特定財源計 ++		千円	0	0	0	0	0			
差引:一般財源 -		千円	9,627	6,171	5,754	5,608	7,504					
受益者負担比率 ÷		%	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0					
事業を取り巻く環境	開始当初から現在までの変化		平和都市宣言から10年以上経過する中で、宣言の周知率は年々高くなり、ここ数年では6割を超えるまでになっている。									
	事業に対する住民の意見(事業に対する期待・要望・苦情など)		アンケート調査では、平和を推進するために好ましい事業は、コンサート・映画が上位に上げられている。また、青少年の参加を増やす必要があるという意見が多い。									
	今後の予測		戦後生まれの世代が人口の7割に達し、今後、戦争を知らない世代の割合がますます高くなる。今日の平和も大きな犠牲の上にあることの認識や戦争の悲惨さ、平和の尊さを不断の努力を怠ることの無いように普及・啓発していくことの重要性は増大してくる。									

# 平成13年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		男女平等推進センター施設維持管理				整理番号	403		細番号			
所属部課名		区民生活部文化・交流課		コード	051204	連絡先電話番号	3393-4410		昨年度整理番号	418		
係名					男女平等推進センター				上位施策名	NO		
予算事業名					男女平等推進センター運営		コード	40100		男女共同参画社会に向けた環境整備	71	
事務事業の概要	事業開始年度				○昭和 ●平成		9年度		根拠法令等		<input type="checkbox"/> 実施計画事業 <input type="checkbox"/> 行革対象事業	
	事業終期				●無 ○有		平成		年度		(1) 男女平等推進センター条例	
	対象				<input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input checked="" type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他		男女平等推進センターの建物、及びセンターを利用する個人・団体		(2) 行政財産使用料条例		(3) 男女平等推進センター登録団体使用取扱要綱	
	活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順)				センターの維持管理 (建物の維持管理委託に係る部分については、児童青少年センターに令達)		活動指標名(式)		(1) 延床505.59㎡		(2)	
	意図 (対象をどのような状態にしたいのか)				快適かつ安全な施設環境に保全する。		成果指標名(式)		(1)		(2)	
	意図を実現することで、上位施策にどのように貢献していますか				センター利用者の男女共同参画社会づくりの意識が高まる。							
区分		単位	10年度実績	11年度実績	12年度		13年度計画	目標値	目標値に対する12年度の達成率%			
					計画	実績		年度				
指標	活動指標(1)		㎡	505.59	505.59	505.59	505.59	505.59		100.0		
	活動指標(2)											
	成果指標(1)											
	成果指標(2)											
総事業費・コスト把握	事業費		千円	9,806	9,431	8,890	6,886	7,323				
	職員数(正規 非常勤)		人	0.15	0.15	0.15	0.15	0.15		特記事項		
	人件費	職員分(超勤分含む)	千円	1,361	1,361	1,361	1,361	1,361				
		非常勤職員分	千円	0	0	0	0	0				
	総事業費 ++		千円	11,167	10,792	10,251	8,247	8,684				
	単位あたりコスト ÷		円	22,087	21,345	20,275	16,312	17,176				
	財源	受益者負担分		千円	109	117	118	82	119			
		国・都からの支出金		千円								
		その他特定財源		千円								
		特定財源計 ++		千円	109	117	118	82	119			
差引:一般財源 -		千円	11,058	10,675	10,133	8,165	8,565					
受益者負担比率 ÷		%	1.0	1.1	1.2	1.0	1.4					
事業を取り巻く環境	開始当初から現在までの変化		「男は仕事 女は家庭」という考え方について(区意識と実態調査より) 平成8年:同感する=14.4% 同感しない=34.3% 平成10年:同感する=17.2% 同感しない=45.3%									
	事業に対する住民の意見 (事業に対する期待・要望・苦情など)		・最寄の駅から離れており不便である。 ・集会室の数が少ない。 ・受付に男女平等推進センター職員を配置してほしい。									
	今後の予測		維持管理経費については、経年劣化に伴い、通常の維持管理経費に加えて修繕費が増える。									

# 平成13年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		企画運営委員会				整理番号	404		細番号		
所属部課名		区民生活部文化・交流課		コード	051204	連絡先電話番号	3393-4410		昨年度整理番号	419	
係名				男女平等推進センター				上位施策名		NO	
予算事業名				男女平等推進センター運営		コード	40100		男女共同参画社会に向けた環境整備		71
事務事業の概要	事業開始年度				<input type="radio"/> 昭和 <input checked="" type="radio"/> 平成		9年度		根拠法令等		<input type="checkbox"/> 実施計画事業 <input type="checkbox"/> 行革対象事業
	事業終期				<input checked="" type="radio"/> 無 <input type="radio"/> 有		平成 年度		(1) 男女平等推進センター条例 (2) 男女平等推進センター企画運営委員会設置要綱 (3) 男女共同参画をめざす杉並区行動計画		
	対象				<input type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input checked="" type="checkbox"/> 団体 <input checked="" type="checkbox"/> その他		男女平等推進センター企画運営委員会（学識意見者、各地域団体推薦、一般公募 計12名）+センター事業				
	活動内容（事務事業の内容、やり方、手順）				委員会を男女平等推進センターで年6回開催し、センター事業の企画や運営について提言する。						
	活動指標名(式)				(1) 委員会開催数 (2) 出席人数						
意図（対象をどのような状態にしたいのか）				センター事業に対し、区民の意見を事業に反映させる。							
成果指標名(式)				(1) 区民企画事業審査数 (2)							
意図を実現することで、上位施策にどのように貢献していますか 施策推進にあたって、チェック機能を果たし、区民参画で行うことができる。											
区分		単位	10年度実績	11年度実績	12年度		13年度計画	目標値	目標値に対する12年度の達成率%		
					計画	実績		年度			
指標	活動指標(1)		回	6	6	6	6	6		100.0	
	活動指標(2)		人	61	59	72	59	72		81.9	
	成果指標(1)		件	8	5	6	3	5		50.0	
	成果指標(2)		件								
総事業費・コスト把握	事業費		千円	458	435	496	421	494	特記事項		
	職員数(正規   非常勤)		人	0.30	0.30	0.30	0.30	0.30			
	人件費	職員分(超勤分含む)	千円	2,722	2,722	2,722	2,722	2,722			
		非常勤職員分	千円	0	0	0	0	0			
	総事業費 ++		千円	3,180	3,157	3,218	3,143	3,216			
	単位あたりコスト ÷		円	529,983	526,150	536,317	523,817	535,983			
	財源	受益者負担分		千円							
		国・都からの支出金		千円							
		その他特定財源		千円							
		特定財源計 ++		千円	0	0	0	0			0
差引:一般財源 -		千円	3,180	3,157	3,218	3,143	3,216				
受益者負担比率 ÷		%									
事業を取り巻く環境	開始当初から現在までの変化		平成9年5月に委員会が設置され、現在三期目の委員会がスタートした。								
	事業に対する住民の意見 (事業に対する期待・要望・苦情など)		委員会の意見をセンター事業に反映させることが、住民の意見を探り入れることにつながる。								
	今後の予測		同規模で開催する予定。								

# 平成13年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		パートタイマー報酬、図書・資料購入				整理番号	405		細番号		
所属部課名		区民生活部文化・交流課		コード	051204	連絡先電話番号	3393-4410		昨年度整理番号	420	
係名				男女平等推進センター				上位施策名		NO	
予算事業名				男女平等推進センター運営		コード	40100		男女共同参画社会に向けた環境整備		71
事務事業の概要	事業開始年度				<input type="radio"/> 昭和 <input checked="" type="radio"/> 平成		9年度		根拠法令等		<input type="checkbox"/> 実施計画事業 <input type="checkbox"/> 行革対象事業
	事業終期				<input checked="" type="radio"/> 無 <input type="radio"/> 有		平成 年度		(1) 男女平等推進センター条例		
	対象				<input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input checked="" type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他		(2) 男女共同参画社会をめざす杉並区行動計画				
	情報・資料コーナーを利用する個人・団体				(3)						
	活動内容（事務事業の内容、やり方、手順）				活動指標名(式)						
男女共同参画社会づくりに関する情報を収集・発信するため関連図書資料等を購入し、その貸出し・返却業務のためパートタイマー2名を雇入れる。				(1) 情報・資料コーナー利用人数							
				(2) パートタイマー雇入れ人数							
意図（対象をどのような状態にしたいのか）				成果指標名(式)							
利用者の男女共同参画社会づくりに関する知識や意識を高める。				(1) (代)図書貸出冊数							
				(2) (代)利用者登録数							
意図を実現することで、上位施策にどのように貢献していますか											
男女共同参画社会づくりにおける区民の意識が高まる。											
区分	単位	10年度実績	11年度実績	12年度		13年度計画	目標値		目標値に対する12年度の達成率%		
				計画	実績		年度	年度			
指標	活動指標(1)	人	6,090	6,730	4,500	4,785	4,800				
	活動指標(2)	人	3	2	2	2	2				
	成果指標(1)	冊	612	776	700	746	750				
	成果指標(2)	人	97	102	92	52	55				
総事業費・コスト把握	事業費	千円	4,111	4,031	2,751	2,544	2,726				
	職員数(正規   非常勤)	人	0.40	0.40	0.40	0.40	0.40	特記事項			
	人件費	職員分(超勤分含む)	千円	3,629	3,629	3,629	3,629	3,629			
		非常勤職員分	千円	0	0	0	0	0			
	総事業費 + +	千円	7,740	7,660	6,380	6,173	6,355				
	単位あたりコスト ÷	円	1,271	1,138	1,418	1,290	1,324				
	財源	受益者負担分	千円								
		国・都からの支出金	千円								
		その他特定財源	千円								
		特定財源計 + +	千円	0	0	0	0	0			
差引:一般財源 -	千円	7,740	7,660	6,380	6,173	6,355					
受益者負担比率 ÷	%										
事業を取り巻く環境	開始当初から現在までの変化	蔵書数 平成11年度:2,360冊 平成12年度:2,635冊									
	事業に対する住民の意見(事業に対する期待・要望・苦情など)	区立図書館でも、センター図書の貸出し・返却ができるようにしてほしい。									
	今後の予測	・地理的に便の良い所ではないので、利用者増はあまり期待できない。 ・施設規模上、蔵書は3,000冊が限界と思われる。									

# 平成13年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		ニュースの発行				整理番号	406		細番号		
所属部課名		区民生活部文化・交流課		コード	051204	連絡先電話番号	3393-4410		昨年度整理番号	421	
係名				男女平等推進センター				上位施策名		NO	
予算事業名				男女平等推進センター運営		コード	40100		男女共同参画社会に向けた環境整備		71
事務事業の概要	事業開始年度				<input type="radio"/> 昭和 <input checked="" type="radio"/> 平成		9年度		根拠法令等 <input type="checkbox"/> 実施計画事業 <input type="checkbox"/> 行革対象事業		
	事業終期				<input checked="" type="radio"/> 無 <input type="radio"/> 有		平成 年度		(1) 男女平等推進センター条例 (2) 男女共同参画社会をめざす杉並区行動計画 (3)		
	対象				<input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input checked="" type="checkbox"/> 団体 <input checked="" type="checkbox"/> その他						
	活動内容（事務事業の内容、やり方、手順）				男女平等推進紙「ゆうCan」の発行（年4回） 公募区民による編集委員会により作成		活動指標名（式）		(1) 発行部数 (2) 編集会議の開催数		
	意図（対象をどのような状態にしたいのか）				男女共同参画社会づくりに関する情報を区民に提供することにより意識を啓発する。		成果指標名（式）		(1) (2)		
意図を実現することで、上位施策にどのように貢献していますか 男女共同参画社会づくりに関する知識の啓発として貢献している。											
区分		単位	10年度実績	11年度実績	12年度		13年度計画	目標値	目標値に対する12年度の達成率%		
					計画	実績		年度			
指標	活動指標(1)		部	18,000	13,500	18,000	18,000	18,000		100.0	
	活動指標(2)		回	31	33	30	32	32		106.7	
	成果指標(1)										
	成果指標(2)										
総事業費・コスト把握	事業費		千円	1,332	1,048	1,084	960	1,083	特記事項		
	職員数(正規   非常勤)		人	0.50	0.50	0.50	0.50	0.40			
	人件費	職員分(超勤分含む)		千円	4,537	4,537	4,537	4,537			3,629
		非常勤職員分		千円	0	0	0	0			0
	総事業費 ++		千円	5,869	5,585	5,621	5,497	4,712			
	単位あたりコスト ÷		円	326	414	312	305	262			
	財源	受益者負担分		千円							
		国・都からの支出金		千円							
		その他特定財源		千円							
		特定財源計 ++		千円	0	0	0	0			0
差引：一般財源 -		千円	5,869	5,585	5,621	5,497	4,712				
受益者負担比率 ÷		%									
事業を取り巻く環境	開始当初から現在までの変化		「男は仕事 女は家庭」という考え方について(区意識と実態調査より) 平成8年:同感する = 14.4% 同感しない = 34.3% 平成10年:同感する = 17.2% 同感しない = 45.3%								
	事業に対する住民の意見 (事業に対する期待・要望・苦情など)		反応があまりないので、住民の意見を吸い上げるための工夫が必要。								
	今後の予測		発行部数としては現状を維持する。								

# 平成13年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		啓発・セミナー講座の開催				整理番号	407		細番号		
所属部課名		区民生活部文化・交流課		コード	051204	連絡先電話番号	3393-4410		昨年度整理番号	422	
係名					男女平等推進センター		上位施策名			NO	
予算事業名					男女平等推進センター運営		コード			40100	
							男女共同参画社会に向けた環境整備			71	
事務事業の概要	事業開始年度				<input type="radio"/> 昭和 <input checked="" type="radio"/> 平成	9 年度		根拠法令等			<input checked="" type="checkbox"/> 実施計画事業 <input type="checkbox"/> 行革対象事業
	事業終期				<input checked="" type="radio"/> 無 <input type="radio"/> 有	平成 年度		(1) 男女平等推進センター条例			
	対象				<input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他	(2) 男女共同参画社会をめざす杉並区行動計画					
	男女共同参画社会やジェンダー・フリーについて興味のある人				(3)						
	活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順)				活動指標名(式)						
	企画立案 講師交渉 起案 広報紙・チラシ等でのPR 会場設 営 実施 後片付け 記録作成 企画運営委員会へ報告				(1) 講座参加人数  (2) 講座開催数						
意図 (対象をどのような状態にしたいのか)				成果指標名(式)							
男女共同参画やジェンダー・フリーについて考えるきっかけと するとともに、女性問題の解決に役立つ基礎的な知識のほか、 コミュニケーション能力・問題可決能力の養成をめざした学習 を行う。				(1) 講座参加満足度 = 評価(5点満点) / 回答人数  (2)							
意図を実現することで、上位施策にどのように貢献していますか 男女平等の意識づくりを広め、男女共同参画社会の実現をめざす。											
区分	単位	10年度 実績	11年度 実績	12年度		13年度 計画	目標値		目標値に対 する12年度 の達成率%		
				計画	実績		年度				
指標	活動指標(1)	人	330	447	420	405	420		96.4		
	活動指標(2)	回	30	24	22	23	24		104.5		
	成果指標(1)	点	4	4	5	4	5		80.0		
	成果指標(2)										
総事業費・ コスト把握	事業費	千円	1,689	1,538	1,209	1,557	1,563				
	職員数(正規   非常勤)	人	2.81	2.81	2.81	2.81	2.81	特記事項			
	人件費	職員分(超勤分含む)	千円	25,495	25,495	25,495	25,495	25,495			
		非常勤職員分	千円	0	0	0	0	0			
	総事業費 + +	千円	27,184	27,033	26,704	27,052	27,058				
	単位あたりコスト ÷	円	82,376	60,477	63,581	66,795	64,424				
	財源	受益者負担分	千円								
		国・都からの支出金	千円								
		その他特定財源	千円								
		特定財源計 + +	千円	0	0	0	0	0			
差引: 一般財源 -	千円	27,184	27,033	26,704	27,052	27,058					
受益者負担比率 ÷	%										
事業を取り巻く環境	開始当初から現在までの変化	参加人数は増えていないが、全体的に若い世代の参加が多くなってきた。									
	事業に対する住民の意見 (事業に対する期待・要望・苦情など)	一方的な講義でなく、参加者の意見発表や交流の場を含めた講座を企画してほしい。									
	今後の予測	女性の生き方・価値観の多様化により、講座に対する要望も今後ますます多様化するものと思われる。									

# 平成13年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		人材養成・ネットワークづくり				整理番号	409		細番号			
所属部課名		区民生活部文化・交流課		コード	051204	連絡先電話番号	3393-4410		昨年度整理番号	424		
係名		男女平等推進センター				上位施策名			NO			
予算事業名		男女平等推進センター運営		コード	40100	男女共同参画社会に向けた環境整備			71			
事務事業の概要	事業開始年度		<input type="radio"/> 昭和 <input checked="" type="radio"/> 平成		9年度		根拠法令等				<input type="checkbox"/> 実施計画事業 <input type="checkbox"/> 行革対象事業	
	事業終期		<input checked="" type="radio"/> 無 <input type="radio"/> 有		平成 年度		(1) 男女平等推進センター条例					
	対象		<input type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input checked="" type="checkbox"/> 団体 <input checked="" type="checkbox"/> その他		(2) 男女共同参画社会をめざす杉並区行動計画							
	活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順)		男女平等の社会的風土づくりのために活動している団体・グループ、及び区の各種審議会		(3)							
	活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順)		男女平等の風土づくりのために、啓発・学習・セミナーの終了者に対して、グループづくりに向けた支援。 団体・グループの人材・リーダー養成のために、区民自らの企画を含めた講習会等の開催。 団体・グループ間の交流促進のために、団体紹介冊子の作成、及びネットワーク化のための支援。 区の各種審議会等への女性委員登用にに向けた人材リストの発行。		活動指標名(式)							
意図 (対象をどのような状態にしたいのか)		地域活動における男女共同参画社会の促進のためにリーダーとなってもらう。		成果指標名(式)								
意図を実現することで、上位施策にどのように貢献していますか		男女共同参画社会づくりの観点から、地域活動における区民のエンパワーメント(連携して力をつけること)が高まる。										
区分		単位	10年度実績	11年度実績	12年度		13年度計画		目標値	目標値に対する12年度の達成率%		
指標	活動指標(1)	団体	173	139	160		136		160	85.0		
	活動指標(2)											
	成果指標(1)	回	10	12	12		8		12	66.7		
	成果指標(2)											
総事業費・コスト把握	事業費		千円	1,729	2,002	1,363		1,098		1,337		
	職員数(正規 非常勤)		人	1.30	1.30	1.30		1.30		1.30	特記事項	
	人件費	職員分(超勤分含む)	千円	11,795	11,795	11,795		11,795		11,795		
		非常勤職員分	千円	0	0	0		0		0		
	総事業費 ++		千円	13,524	13,797	13,158		12,893		13,132		
	単位あたりコスト ÷		円	78,173	99,258	82,237		94,801		82,074		
	財源	受益者負担分		千円								
		国・都からの支出金		千円								
		その他特定財源		千円								
		特定財源計 ++		千円	0	0	0		0		0	
差引: 一般財源 -		千円	13,524	13,797	13,158		12,893		13,132			
受益者負担比率 ÷		%										
事業を取り巻く環境	開始当初から現在までの変化		新たに活動を始める団体も増えてきたが、既存団体の減少が多く、全体的には減少傾向にある。センター講座受講者のグループ化支援により、設立された自主グループが翌年度の区民企画事業に応募する等、力をつけてきている。									
	事業に対する住民の意見 (事業に対する期待・要望・苦情など)		(仮称)男女平等推進に関する条例の制定 助成対象を講座だけでなく、調査研究にも広げてほしい。									
	今後の予測		センターの講座受講者等を中心に自主グループが設立されているが、全体的には、団体の減少は続くと思われる。									

# 平成13年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		女性のための相談				整理番号	413		細番号					
所属部課名		区民生活部文化・交流課		コード	051204	連絡先電話番号	3393-4410		昨年度整理番号	428				
係名					男女平等推進センター		上位施策名			NO				
予算事業名					男女平等推進センター運営		コード	40100		男女共同参画社会に向けた環境整備	71			
事務事業の概要	事業開始年度				<input type="radio"/> 昭和 <input checked="" type="radio"/> 平成		9 年度		根拠法令等			<input type="checkbox"/> 実施計画事業 <input type="checkbox"/> 行革対象事業		
	事業終期				<input checked="" type="radio"/> 無 <input type="radio"/> 有		平成 年度		(1) 男女平等推進センター条例					
	対象				<input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他		区民一般					(2) 男女共同参画社会をめざす杉並区行動計画		
									(3)					
	活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順)				センターにおいて無料で一般相談 (10:00~16:00)、法律相談 (毎木曜の13:15~17:15、月1回は夜間、いずれも予約制) を実施する。								活動指標名(式)	
													(1) 年間開催日数(延べ)	
意図 (対象をどのような状態にしたいのか)				悩み事が解決され、安心して生活をおくれるようにする。								成果指標名(式)		
												(1) 相談件数 = 一般相談 + 法律相談		
												(2)		
意図を実現することで、上位施策にどのように貢献していますか														
男女共同参画社会づくりの視点から、社会的に弱い立場にある女性の自立に貢献する。														
区分		単位	10年度実績	11年度実績	12年度		13年度計画	目標値		目標値に対する12年度の達成率%				
					計画	実績		年度						
指標	活動指標(1)		日	292	292	286	286	313		100.0				
	活動指標(2)													
	成果指標(1)		件	1,097	1,077	1,000	789	875		78.9				
	成果指標(2)													
総事業費・コスト把握	事業費		千円	6,612	6,677	4,758	4,709	5,753						
	職員数 (正規   非常勤)		人	0.15	0.15	0.15	0.15	0.15	特記事項					
	人件費	職員分(超勤分含む)		千円	1,361	1,361	1,361	1,361	1,361					
		非常勤職員分		千円	0	0	0	0	0					
	総事業費 + +		千円	7,973	8,038	6,119	6,070	7,114						
	単位あたりコスト ÷		円	27,305	27,527	21,395	21,224	22,728						
	財源	受益者負担分		千円										
		国・都からの支出金		千円										
		その他特定財源		千円										
		特定財源計 + +		千円	0	0	0	0	0					
差引: 一般財源 -		千円	7,973	8,038	6,119	6,070	7,114							
受益者負担比率 ÷		%												
事業を取り巻く環境	開始当初から現在までの変化		微量だが件数が減りつつある。ただし、1件あたりにかかる時間が長くなってきている。											
	事業に対する住民の意見 (事業に対する期待・要望・苦情など)		相談時間の制限が緩やかで、落ち着いて相談できる。											
	今後の予測		社会状況の変化に伴い、より複雑で深刻な相談内容になってくると予想される。											



# 平成13年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		自立支援・起業支援				整理番号	414		細番号							
所属部課名		区民生活部文化・交流課		コード	051204		連絡先電話番号	3393-4410		昨年度整理番号	429					
係名				男女平等推進センター				上位施策名		NO						
予算事業名				男女平等推進センター運営		コード	40100		男女が対等に働ける職場環境づくり		49					
事務事業の概要	事業開始年度				○昭和 ●平成		9年度		根拠法令等				<input checked="" type="checkbox"/> 実施計画事業 <input type="checkbox"/> 行革対象事業			
	事業終期				●無 ○有		平成		年度		(1) 男女平等推進センター条例					
	対象				<input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他		経済的に自立をめざす女性区民		(2) 男女共同参画社会をめざす杉並区行動計画							
	活動内容（事務事業の内容、やり方、手順）				就職・再就職セミナーとして、女性の経済的自立（就職・再就職）をするにあたっての情報提供（講演）とパソコン実技（エクセル）の講習を実施。平成13年度からは起業、事業計画、経営診断の3セミナーも実施し、起業支援を図る。								活動指標名（式）			
	意図（対象をどのような状態にしたいのか）				女性の経済的自立を支援する学習と情報を提供することにより、自立への意識と方法を学ぶ。								成果指標名（式）			
意図を実現することで、上位施策にどのように貢献していますか												(1) 就職率（就職人数 / 追跡調査回収数）				
女性の就業意識、自立意識の向上につながっている。												(2)				
区分	単位	10年度実績	11年度実績	12年度		13年度計画	目標値		目標値に対する12年度の達成率%							
				計画	実績		年度									
指標	活動指標(1)		人	72	17	40	20	110								
	活動指標(2)															
	成果指標(1)		%	-	20	20	7	20								
	成果指標(2)															
総事業費・コスト把握	事業費		千円	416	215	589	541	1,633								
	職員数(正規   非常勤)		人	0.50	0.50	0.50	0.50	0.30	特記事項							
	人件費	職員分(超勤分含む)	千円	4,537	4,537	4,537	4,537	2,722	成果指標(1)の10年度は調査未実施、12年度は現在調査中							
		非常勤職員分	千円	0	0	0	0	0								
	総事業費 ++		千円	4,953	4,752	5,126	5,078	4,355								
	単位あたりコスト ÷		円	68,785	279,500	128,138	253,875	39,590								
	財源	受益者負担分		千円	0	0	280	140			590					
		国・都からの支出金		千円												
		その他特定財源		千円												
		特定財源計 ++		千円	0	0	280	140			590					
差引：一般財源 -		千円	4,953	4,752	4,846	4,938	3,765									
受益者負担比率 ÷		%	0.0	0.0	5.5	2.8	13.5									
事業を取り巻く環境	開始当初から現在までの変化		女子学生対象の就職講座と再就職希望者向けの講座を一本化、就職・再就職セミナーとし、平成11年度からは、受講希望が多く、その技能習得が就職に有利とされるパソコン講座を実施。平成13年度からは、起業を支援するセミナーも実施。													
	事業に対する住民の意見（事業に対する期待・要望・苦情など）		エクセルだけでなくワード講習も実施してほしい。													
	今後の予測		平成12年度は20名の定員に対し222名の応募があり、今後もこの傾向は続くと思われる。平成13年度からは、女性起業支援のための起業・事業計画づくり・経営診断の3セミナーを実施し、一層の自立支援を図る。													

# 平成13年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		男女共同参画推進のための啓発				整理番号	417		細番号		
所属部課名		区民生活部文化・交流課		コード		連絡先電話番号	1566		昨年度整理番号	433・434	
係名					男女共同参画推進担当			上位施策名		NO	
予算事業名					女性行政振興		コード	40210			
事務事業の概要	事業開始年度				○昭和 ●平成		3年度		根拠法令等		<input checked="" type="checkbox"/> 実施計画事業 <input type="checkbox"/> 行革対象事業
	事業終期				●無 ○有		平成年度		(1) 男女共同参画社会基本法		
	対象				<input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他		区民、職員		(2) 杉並区男女共同参画推進区民懇談会設置要綱		
									(3) 杉並区男女共同参画推進会議設置要綱		
	活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順)				活動指標名(式)						
資料集や啓発紙を作成し、区民や団体に配布。また、「成人祝賀のつどい」時に新成人に対して、男女平等啓発紙を配布。職員向け男女平等推進紙「風媒花」の作成配布や庁内放送(朝メロ)により、職員に対し啓発や情報提供を行う。				(1) 啓発誌作成部数 + 推進紙作成部数							
				(2)							
意図 (対象をどのような状態にしたいのか)				成果指標名(式)							
男女平等に関する情報を提供することにより、区民や職員に、男女平等・男女共同参画についての理解を深めてもらう。				(1) 啓発誌配布数 ÷ 啓発誌作成部数							
				(2)							
意図を実現することで、上位施策にどのように貢献していますか											
男女平等への理解を深めることにより、女性も男性も社会のあらゆる分野に対等なパートナーとして参画できる社会が実現する。また、区における職場の男女平等を推進する。											
区分		単位	10年度実績	11年度実績	12年度		13年度計画	目標値	目標値に対する12年度の達成率%		
					計画	実績		15年度			
指標	活動指標(1)		部	3,900	5,100	4,500	3,100	4,300		68.9	
	活動指標(2)										
	成果指標(1)		%	95.7	84.4	90	87.6	90		97.3	
	成果指標(2)										
総事業費・コスト把握	事業費		千円	499	753	404	398	314			
	職員数(正規   非常勤)		人	0.60	0.70	0.50	0.50	0.30	特記事項		
	人件費	職員分(超勤分含む)	千円	5,444	6,351	4,537	4,537	2,722			
		非常勤職員分	千円	0	0	0	0	0			
	総事業費 + +		千円	5,943	7,104	4,941	4,935	3,036			
	単位あたりコスト ÷		円	1,524	1,393	1,098	1,592	706			
	財源	受益者負担分		千円							
		国・都からの支出金		千円							
		その他特定財源		千円							
		特定財源計 + +		千円	0	0	0	0	0		
差引: 一般財源 -		千円	5,943	7,104	4,941	4,935	3,036				
受益者負担比率 ÷		%									
事業を取り巻く環境	開始当初から現在までの変化		男女共同参画社会基本法や男女平等参画基本条例が制定されるなど法的な整備が進んできているなか、男女平等に対する意識も女性に対する不平等意識から女性の自立・社会参画等、男女が対等な立場で社会や家庭を担う男女共同参画社会の形成へと変わってきている。また、DV防止法も制定されるなど「女性に対する暴力」の問題もクローズアップされている。								
	事業に対する住民の意見 (事業に対する期待・要望・苦情など)		男女共同参画宣言都市にふさわしい行政のあり方が求められている。								
	今後の予測		少子・高齢化が進むことにより、育児や介護を含めた家庭と仕事の両立、また、セクシュアル・ハラスメントや家庭内暴力など女性の人権について、今後ますます情報提供や意識啓発が必要になってくる。法的整備もすすむなかそれにあわせた行政のあり方が求められる。								

# 平成13年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		調査研究				整理番号	419		細番号				
所属部課名		区民生活部文化・交流課		コード	51201	連絡先電話番号	1566		昨年度整理番号	435			
係名					男女共同参画推進担当				上位施策名	NO			
予算事業名					女性行政振興		コード	40210		男女共同参画社会に向けた環境整備	71		
事務事業の概要	事業開始年度				●昭和 ○平成		58年度		根拠法令等		<input checked="" type="checkbox"/> 実施計画事業 <input type="checkbox"/> 行革対象事業		
	事業終期				●無 ○有		平成年度		(1) 男女共同参画社会基本法				
	対象				<input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input checked="" type="checkbox"/> 団体 <input checked="" type="checkbox"/> その他		(2) 杉並区男女共同参画推進区民懇談会設置要綱						
	男女共同参画社会をめざす杉並区行動計画推進状況調査：各主管課				男女共同参画に関する意識と生活実態調査：一般区民		(3) 杉並区男女共同参画推進会議設置要綱						
	活動内容（事務事業の内容、やり方、手順）				活動指標名（式）								
	男女共同参画社会をめざす杉並区行動計画推進状況調査（前年度の推進状況） 男女共同参画に関する意識と生活実態調査（3年に1回程度） 但し、12年度は未実施。				(1) 男女共同参画社会をめざす杉並区行動計画推進状況調査対象事業数 (2) 男女共同参画社会に関する意識と生活実態調査の調査票回収率								
意図（対象をどのような状態にしたいのか）				成果指標名（式）									
行動計画推進状況調査：年度毎の推進状況調査により、各施策の事業実績及び評価を区民に明示できる。男女共同参画に関する意識と生活実態調査：区民の意識や実態を把握し、男女共同参画関係施策に反映させる。				(1) 有効とされた事業数 / 対象事業数 (2)									
意図を実現することで、上位施策にどのように貢献していますか													
行動計画の各事業実績を把握・評価することにより、さらに目標を上げることができる。また、意識と生活実態調査の結果は、区行動計画改定時や、新たな施策を行う時の参考となる。													
区分		単位	10年度実績	11年度実績	12年度		13年度計画	目標値	目標値に対する12年度の達成率%				
					計画	実績		15年度					
指標	活動指標(1)		事業		465	465	465	465	465	100.0			
	活動指標(2)		%	73.9				60以上	80				
	成果指標(1)		%		70.1			75	80				
	成果指標(2)		部	1,400				1,400	1,400				
総事業費・コスト把握	事業費		千円	5,809	433	665	553	3,665	6,000				
	職員数(正規   非常勤)		人	1.00	0.50	0.30	0.30	1.00	特記事項				
	人件費	職員分(超勤分含む)	千円	9,073	4,537	2,722	2,722	9,073	成果指標(1)は、12年度実績集計中。				
		非常勤職員分	千円	0	0	0	0	0					
	総事業費 ++		千円	14,882	4,970	3,387	3,275	12,738					
	単位あたりコスト ÷		円		10,688	7,284	7,043	27,394					
	財源	受益者負担分		千円									
		国・都からの支出金		千円									
		その他特定財源		千円									
		特定財源計 ++		千円	0	0	0	0			0		
差引：一般財源 -		千円	14,882	4,970	3,387	3,275	12,738						
受益者負担比率 ÷		%											
事業を取り巻く環境	開始当初から現在までの変化		男女共同参画社会基本法、配偶者からの暴力の防止及び被害者の保護に関する法律が制定され、東京都でも、男女平等参画基本条例が制定されるなど、法律の整備が進んだ。経済社会環境の変化の中で、少子・高齢化が進み、男女共同参画社会の実現が国の最重要課題の一つと認識されてきている。										
	事業に対する住民の意見（事業に対する期待・要望・苦情など）		男女共同参画社会をめざす杉並区行動計画推進状況に対する第三者評価の必要が指摘されている。										
	今後の予測		社会環境の変化のスピードは、ますます速まり、男女の新たな役割、問題なども大きく変化をしていくと思われる。これらの変化を常時把握し、敏感に施策に反映していくことが望まれる。そのためにも、地道な調査・研究は必要であり、今後は調査結果に対する第三者の評価を取り入れる方策を検討することが肝要である。										

# 平成13年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		男女共同参画の推進				整理番号	420		細番号		
所属部課名		区民生活部文化・交流課		コード	51201	連絡先電話番号	1566		昨年度整理番号	436	
係名		男女共同参画推進担当				上位施策名			NO		
予算事業名		女性行政振興		コード	40210	男女共同参画社会に向けた環境整備			71		
事務事業の概要	事業開始年度		○昭和 ●平成		10年度		根拠法令等				
	事業終期		○無 ○有		平成年度		<input checked="" type="checkbox"/> 実施計画事業 <input type="checkbox"/> 行革対象事業				
	対象		<input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input checked="" type="checkbox"/> 団体 <input checked="" type="checkbox"/> その他		(1) 男女共同参画社会基本法 (2) 杉並区男女共同参画推進区民懇談会設置要綱 (3) 杉並区男女共同参画推進会議設置要綱						
	活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順)		区における男女共同参画関係施策の総合的・計画的推進を図るため、区民懇談会及び推進会議を行い、委員・幹事で懇談、意見集約を図る。 男女共同参画都市宣言記念事業：例年12月の宣言時期にあわせ、パネル展示等を行うほか、通年で各種事業を行う。				活動指標名(式)				
	意図 (対象をどのような状態にしたいのか)		男女共同参画の推進を図るため、男女平等・共同参画に関する施策について区民の意見を集約し、男女共同参画行政に反映させる。 都市宣言を記念した事業を行い、男女共同参画宣言都市の周知に努める。				成果指標名(式)				
意図を実現することで、上位施策にどのように貢献していますか		区民と区が良好なパートナーシップのもとに、男女共同参画社会の実現に貢献する。									
区分		単位	10年度実績	11年度実績	12年度		13年度計画		目標値	目標値に対する12年度の達成率%	
					計画	実績			15年度		
指標	活動指標(1)		回		5	5	5	3	5	100.0	
	活動指標(2)		人	300	280	200	280	300	300	140.0	
	成果指標(1)		%	32.8	36.7	30	37.2	30	40	124.0	
	成果指標(2)		%	8				10	20		
総事業費・コスト把握	事業費		千円		1,152	572	419	1,050	1,500		
	職員数(正規 非常勤)		人		0.80	0.80	0.80	0.60	特記事項		
	人件費	職員分(超勤分含む)	千円	0	7,258	7,258	7,258	5,444			
		非常勤職員分	千円	0	0	0	0	0			
	総事業費 ++		千円	0	8,410	7,830	7,677	6,494			
	単位あたりコスト ÷		円		1,682,080	1,566,080	1,535,480	2,164,600			
	財源	受益者負担分		千円							
		国・都からの支出金		千円							
		その他特定財源		千円							
		特定財源計 ++		千円	0	0	0	0	0		
差引:一般財源 -		千円	0	8,410	7,830	7,677	6,494				
受益者負担比率 ÷		%									
事業を取り巻く環境	開始当初から現在までの変化		区は平成9年12月1日に男女共同参画都市宣言を行った。できるだけ多くの刊行物に宣言文を掲載するなど、普及啓発に努力している。12年11月には全国男女共同参画宣言都市サミット(石川県小松市開催)に参加している。男女共同参画宣言都市も平成6年度には3自治体であったが、12年度には37自治体が増えている。								
	事業に対する住民の意見 (事業に対する期待・要望・苦情など)		平成14年度の区制70周年記念行事の一環として全国男女共同宣言都市サミットを開催してほしいという要望が寄せられている。								
	今後の予測		平成13年1月、国の省庁再編において男女共同参画室が男女共同参画局となり、同年4月には「配偶者からの暴力の防止及び被害者の保護に関する法律」が制定されるなど男女共同参画社会の実現に向け、社会環境の整備は徐々に進展してきている。今後は法の円滑かつ、実効性のある施行によって男女共同参画社会の実現を目指していくことが期待される。								